

大分県

4000万円以上は一般競争

最低制限価格引き上げ

大分県は、4月1日以
降に実施する入札・契約
制度の見直し内容を発表
した。一般競争入札を予
定価格4000万円以上
の全工事に拡大。土木建
築部の5000万円以
上、農林水産部の1億円
以上の工事に総合評価落
札方式を適用する。最低
制限価格は、現行より最
低制限率を5%程度引き
上げ、おおむね80%とす
る。

県では現在、建築70
案件で実施しているが、

00万円以上、その他の
工事5000万円以上で
一般競争入札を行って
いるが、08年度からは工種
を問わず4000万円以
上まで拡大する。昨年度
の実績から見ると、件数
ベースでおよそ2割が一
般競争入札での発注とな
る見込み。

総合評価落札方式は、

土木建築部では1億円以
上、農林水産部では1億
円以上の中から抽出した
案件で実施しているが、

5倍程度に増え、土木建
築部100件、農林水産
部16件程度となる予定。
1億円未満の工事に適
用している最低制限価格
は、低価格入札の増加な
どを受け、算定式を見直
し、おおむね75%として
いる現行の最低制限率を
80%程度に引き上げる。